



山王中だより

学校教育目標

未来を見つめ自ら行動する生徒

平成29年9月1日

第6号

校長 吉川 克巳

<目指す生徒像>

思いやりあふれよく働く生徒・真剣に学習する生徒・たくましく生きる生徒

『生活リズムを学校生活モードに！』

全校生徒が夏休みを終え、大きな怪我や事故もなく、2学期の始業式を迎えられることを大変うれしく思います。42日間学校を離れて家庭生活を満喫したことでしょう。家庭生活は、ゆったりと時間が流れ、心が癒されます。生きるエネルギーを与えてくれます。家族と一緒に生きる喜びを実感させてくれます。一人一人が自分の道を拓き、貴重な体験をしてよい思い出を作ったことでしょう。

さて、今日から1年間で最も長い学期が始まります。まずは、家庭生活モードを学校生活モードに切り替えなければなりません。規則正しい生活を送っていた生徒は、すぐに切り替えができませんが……起床時刻、就寝時刻をきっちり守り、家庭学習を行い、約10時間は学校にいて、しっかりと決まった時間の流れの中で「心と脳と体」を鍛えましょう。また、仲間と楽しく話し合い、励まし合い、競い合い、学校行事に向けてクラス、全校が一致団結（協力）して、お互いに高め合い、成功の喜びを分かち合いましょう。



男子バスケ学校総合体育大会3位

「2学期スタート！学習意欲と心のたくましさを！」

夏休みが終わり、2学期が始まりました。3年生は学習を中心に、1・2年生は部活動で心と体と頭の汗を流した人が多かったことと思います。体育祭、新人戦、合唱祭、……進路、一つ一つが大切です！夏休みに身につけた大きな力や財産を2学期に発揮して欲しいと思います。これからの成果が楽しみです。

『期待とは……』

期待の期の字は「あてにする」、待の字は「まつ」です。期待とは「あてにしてまつ」という意味です。学校が自分に何かをしてくれることだけを期待しているだけでは期待外れがあるかもしれません。自分に何ができるかを考え、期待外れが「希望」に変わるように、自分のクラスや部活動で仲間といい方向に変化させることが大切です。今日から新しい「希望」に向けて仲間とともにスタートしましょう。

2学期も、保護者と地域の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。